

平成22年度 国公立大学附属病院医療安全セミナー

患者参加を支援するためのツール

にこにこ

阪大病院みんなのいろはうた

～患者さんと医療者のパートナーシップ～

2010.6.17

大阪大学医学部附属病院
中央クオリティマネジメント部

池尻 朋/上間あおい

中島和江、高橋りょう子、團寛子、新開裕幸
清水健太郎、長浜宗敏、池辺良重



患者安全に患者さんを 巻き込みたい！

患者さんと医療者が一緒に取り組める
医療安全のポイントは？



米国での取り組み例

To prevent health care errors, patients are urged to...

SpeakUP™



Everyone has a role in making health care safe. That includes doctors, health care executives, nurses and many health care technicians. Health care organizations all across the country are working to make health care safe. As a patient, you can make your care safer by being an active, involved and informed member of your health care team.

Speak up if you have questions or concerns. If you still don't understand, ask again. It's your body and you have a right to know.

Pay attention to the care you get. Always make sure you're getting the right treatments and medicines by the right health care professionals. Don't assume anything.

Educate yourself about your illness. Learn about the medical tests you get, and your treatment plan.

Asks a trusted family member or friend to be your advocate (advisor or supporter).

Know what medicines you take and why you take them. Medicine errors are the most common health care mistakes.

Use a hospital, clinic, surgery center, or other type of health care organization that has been carefully checked out. For example, The Joint Commission visits hospitals to see if they are meeting The Joint Commission's quality standards.

Participate in all decisions about your treatment. You are the center of the health care team.

 The Joint Commission

わからないことは何度も尋ねましょう、自分の体について知ることはあなたの**権利**です

自分の病気については、**自分自身**でしっかり学びましょう

The Joint Commission
<http://www.jointcommission.org/>

阪大「いろはうた」チーム結成！

臨床経験をもつ看護師の視点から
患者参加型の医療安全を考える



インシデントレポートを熟読



- ・伝えたいポイントを抽出
- ・伝わりやすい言葉とデザインの工夫

抽出されたポイント

- 1: 患者確認
- 2: 転倒予防
- 3: 代替不可用品の紛失予防
- 4: 自己決定
- 5: 信頼できる人への相談
- 6: 正しい服薬
- 7: 自己管理

わかりやすく伝える工夫

1. 言葉の工夫：読みやすく、日本的なリズムを考慮したもの→**句として表現**
2. デザインの工夫：幅広い年代にわかりやすく親しみやすいもの→**イラストで表現**
- 3 ツールの工夫：入院中、退院後も身近に使えるもの→**紙仕様のファイル**

「いろはうた」ファイルー式を作成

「いろはうた」
アンケート用紙

「いろはうた」
説明用紙

「いろはうた」
ファイル

ボールペン



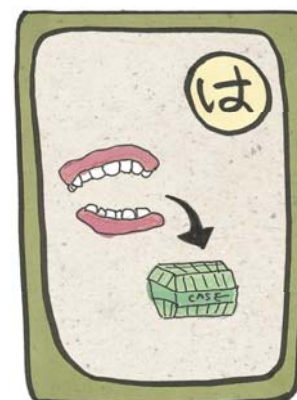
7つのポイント: 句とイラストで表現



患者確認



転倒予防



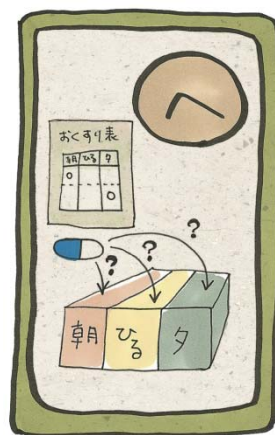
代替不可用品の
紛失予防



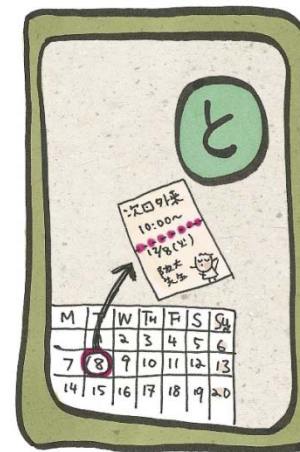
自己決定



信頼できる人への相談



服薬管理



自己管理

試行の結果

- ・対象病棟：乳腺・内分泌外科、形成外科（病床数：50床）
- ・試行期間：2010年4月6日（火）～4月16日（金）
- ・方 法：入院中の患者さんのベッドサイドで、「いろはうた」キャンペーンの目的をいろはうた」ファイルを用いて実施、後日アンケートを回収する
- ・実施人数：43名（男性8名、女性25名）
平均年齢53歳、（最年少21歳、最高齢88歳）
- ・アンケート回収数：39件

患者さんからの声

- ・自分自身も改善した方が良くとわかり早速家族に連絡しました
- ・患者にとって、とても有意義な取り組みだと思います
今後いろんなことに挑戦して下さい
- ・是非、いろはの続きを作って皆に配付したらよいと思う
- ・忙しそうにされているので、話しかけにくい部分はある、と思います



自己決定

最も人気があった句

二度三度 たずねることも 遠慮なく
治療の主役は あなたです

各委員会での承認



- ・ 病院長・副院長会議
- ・ 臨床科長会議
- ・ 病院運営委員会
- ・ リスクマネジメント委員会
- ・ リスクマネジャー会議
- ・ 看護師長合同会議
- ・ 外来看護師長・副看護師長会議
- ・ 教育担当副看護師長会議
- ・ 業務担当副看護師長会議
- ・ 病院フォーラム

院内周知

ポスター作成



ポスター掲載場所の検討



説明方法の教育



- ・説明方法
- ・説明方法(簡易版)
- ・マニュアル
- ・動画ダウンロード方法
- ・通知文(写)
- ・患者さんの声

「いろはうた」
説明マニュアル



説明方法動画

院内ホームページ参照
資料はダウンロード可能

職員の参加促進



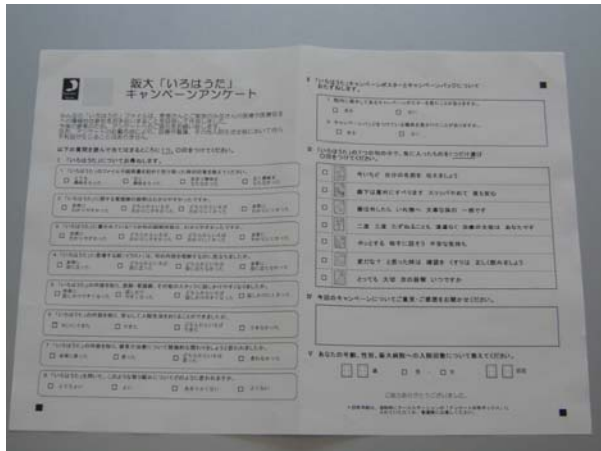
「いろはうた」バッジ

全職員が着用



- ・自覚と一体感
- ・患者さんからの「みえる化」

アンケート



- ・ 退院時にアンケート実施
- ・ 無記名形式
- ・ ナースステーション前にアンケート回収箱を設置

アンケート内容

- ① 参加前後での行動変容
- ② 周知の程度
- ③ 好きな句ランキング



おわりに

「いろはうた」キャンペーン ～患者さんと医療者のパートナーシップ～のポイント

- ① 視覚に訴えるツール
- ② 双方に「役に立つ」
- ③ 双方の「自主性」を促す
- ④ 効果的な「みえる化」
- ⑤ 病院全体のとりくみ

